

未来へ



No one left behind

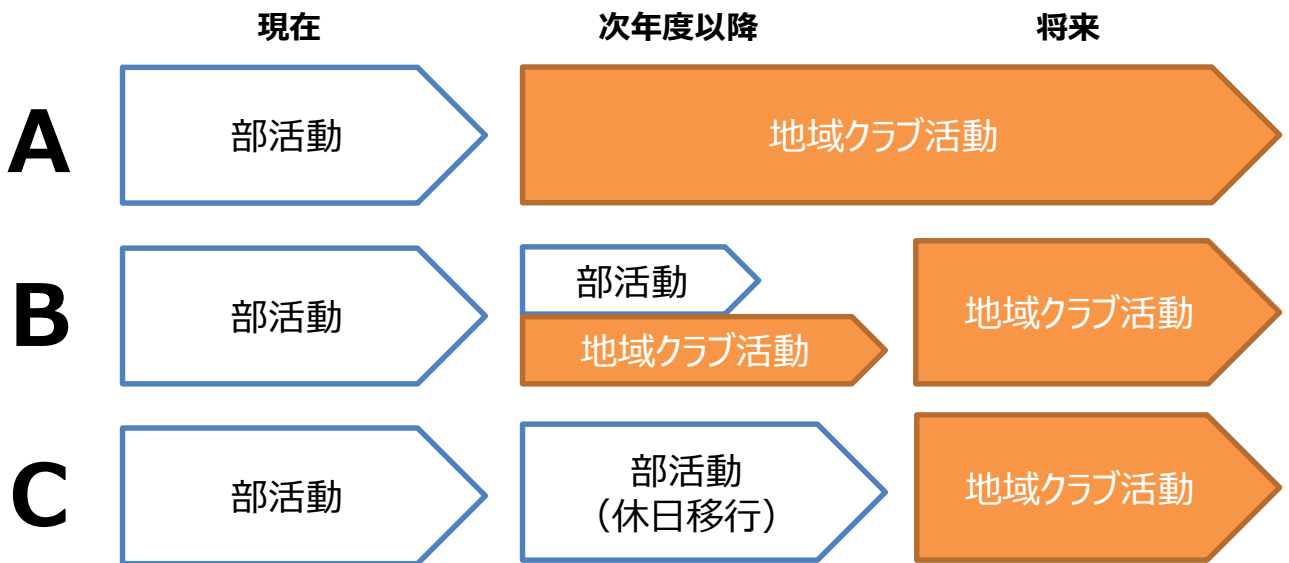
部活動改革シリーズ① ～部活動の地域移行～

中学校の部活動については、子供たちが将来にわたりスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、部活動の地域連携や地域移行に向けた準備が求められています。

本校における部活動の地域移行については、受け皿となる地域クラブ活動（総合型地域スポーツクラブ、社会体育クラブ等）との連携を図りながら、来年度から段階的に進めていきたいと考えていますが、学校だけでできることではないため、教育委員会主催の部活動調査委員会で検討が進められています。

なお、部活動の地域移行の環境整備として、本校では、来年度より、部活動規定に定めていた「原則、全生徒参加」の条文を改め、部活動を任意参加とすることとします。これは、生徒が部活動や地域クラブ活動での多様な活動を選択しやすいようにするためです。

また、地域移行を進める中で、部活動生として入部した既存の部員の活動をどう保障していくかについても検討していかなければなりません。そのため、部活動の地域移行のパターンとしては、以下の3つが考えられます。



Aは、受け皿となる地域クラブ活動との連携を図り、部活動から地域クラブ活動への切り替えをスムーズに行うパターンです。次年度の部活動の部員がいない場合などが想定されます。

Bは、受け皿となる地域クラブ活動との連携を図り、生徒の獲得などの競争を避けるために、ある学年から部活動の部員の募集を停止し、地域クラブ活動への流れを推進するパターンです。既存の部員の活動を保障することができ、新入生は地域クラブ活動での活動を開始します。

Cは、受け皿となる地域クラブ活動がないため、部活動の休日移行（休日だけ教員以外が指導する）を段階的に行いながら、地域クラブ活動の立ち上げを行うパターンです。

なお、文部科学省は、当初、今後3年間で部活動の休日移行を目指すとしていましたが、「部活動の地域移行の達成時期については、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す」と改めました。今後、国や県の動向を注視しながら、本校や地域の実情に応じた部活動の地域移行を検討していくことが必要です。